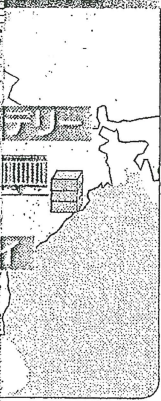


ハイ
間
脈
構
想

年末に行った首脳会談で日本側が、DMIIC構想に携わっている企業や提案。インド側が財務省

インド北西部の主要都市を貨物専用鉄道で結ぶデリー・ムンバイ間産業大動脈(DMIIC)構想の実現に向けてインド政府が、海外からの資金調達を妨げているとされる金融分野の規制を緩和する検討に入った。外国銀行が行う融資に対する規制の緩和や、外国為替手続の簡素化について関係機関で調整する。実現すれば日本からの投資が加速し、経済連携の強化につながる期待が持てる。

インド政府

金融規制緩和を検討

北西部の貨物鉄道構想

DMIIC構想はデリーとムンバイの両都市を結ぶ貨物鉄道の敷設を軸とし、沿線一帯で工業団地や物流基地、発電所、道路、港湾などを整備する日印共同の地域開発プロジェクト。日本側は一連の規制緩和で、日本からの投資がさらに活発化すると期待。5年間で1兆円が規模になるとされるインドのインフラ整備事業

調整。現地の外資系銀行が海外の本支店から資金を借り入れる際の規制も見直す。外国銀行に義務付けている優先貸し出し分野に、従来の農業や住

宅関連のほか、DMIIC関連の案件を追加することも検討する。さらに外国為替手続も、DMIIC関連の案件については簡素化を進める見通しだ。

きょう(10日)の主な決算発表予定

※本一決算▷1=第1四半期▷2=第2四半期▷3=第3四半期、社名は略称、カッコ内は証券コード、予定は変更になる場合があります

◆15時〜《本》ジャステック(9717)
◆15時〜《1》サイゼリヤ(7581)
◆15時〜《3》良品計画(7453)▷マルヨシセンタ(7515)▷パルコ(8251)
◆未定 《本》トーセイ(8923)▷北恵(9872)
◆未定 《1》三栄建築(3228)▷クラウドディア(3607)▷明光ネット(4668)▷M-NPC(6255)▷マニー(7730)
◆未定 《2》アイケイ(2722)▷ハニーズ(2792)▷クリエイトSDH(3148)▷三協立山(3432)▷中北製(6496)▷佐島電機(7420)▷オータケ(7434)▷小津産業(7487)▷シグマ光機(7713)▷M-インターアク(7725)▷三光合成(7888)
◆未定 《3》ローソン(2651)▷ギャバン(2817)▷M-Jプロ(3063)▷Radish(3146)▷薬王堂(3385)▷フェリシモ(3396)▷日電線(5817)▷ロニエ(6323)▷ニューテック(6734)▷オーエーシステム(7491)▷パスポート(7577)▷スター精密(7718)▷ジョイス(8080)▷ワキタ(8125)▷東宝不(8833)▷和田興産(8931)▷東宝(9602)▷昂(9778)▷富士エレクト(9883)

本市
開幕
披露

メーカーは、外出先で便利なスマートフォン(多機能携帯電話)や人気のタブレット型多機能携帯端末に続いて、家庭でも

社説

多言語翻訳

日本企業初の多言語総合翻訳サービス会社(MLV)が、今月中旬にも中国・大連に設立される。ポイントの特許など知的財産の翻訳と、IT系マニュアルなどを多言語一斉翻訳する現地化対応(ローカライゼーション)だ。産業支援分野の中小企業連合による中国ビジネス進出という点でも注目されそうだ。

知財翻訳研究所(東京都新宿区)やジェスコポレーション(横浜市西区)など産業翻訳会社4社が設立するMLVは近年、欧米で主流になりつつある。場合によっては母国語を使わないこともある。

英語が基本の欧米MLVに比べると、日本は翻訳者確保などで不利だ。ただ、特定国・領域のアジアビジネスで強みを発揮する。先進の米国も出願主義に切

る。中国は2010年に特許出願件数が、米国に次ぐ世界2位になった。政府は外国出願に対し補助を出すなど、科学技術全般の推進とともに力を入れている。先進の米国も出願主義に切

る。中国は2010年に特許出願件数が、米国に次ぐ世界2位になった。政府は外国出願に対し補助を出すなど、科学技術全般の推進とともに力を入れている。先進の米国も出願主義に切

る。中国は2010年に特許出願件数が、米国に次ぐ世界2位になった。政府は外国出願に対し補助を出すなど、科学技術全般の推進とともに力を入れている。先進の米国も出願主義に切

中国進出で知財分野をリード

る。翻訳会社は通常、母国と相手国の間の2言語で文書の翻訳を行うが、MLVでは日・英・中・韓・英・ベトナムなど多言語の間での多様な翻訳を請け負う予定だ。

り替える大改革により、特許の法的な仕組みは世界的に統一されつつある。そのため、中国や米国を中心に「発明者の国の言語による特許を、多言語へ一斉

スを展開する相手国の国民性や市場特性に合った形で、現地化を進めることを指す。インテルなど米国IT大手がMLVを活用し、これに積極的だ。ソフトウエア仕様書やマニュアルなど翻訳量が膨大なうえ、世界同時発売で英語から一斉に多言語翻訳する必要があるからだ。イン

ターネットの普及で即日対応が可能になったのも背景にある。この場合、国内市場が中心のままでいる中小翻訳会社では、MLVの脅威に感じるしかない。ジェスコポレーションの